

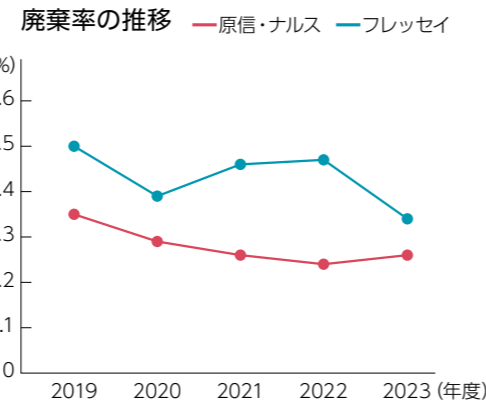
当社はグループビジョンにおいて「環境経営」を掲げています。「環境経営」の中でも食品を取り扱う当社においては、食品やプラスチック・紙の使用量抑制・廃棄物発生抑制・リサイクル等、資源の有効活用及び循環型社会の実現に向けた取り組みを行っています。

食品廃棄物の発生抑制

店舗や製造工場から排出される食品廃棄物の削減に向け、様々な取り組みを実施しています。

- TQMによる製造歩留まりの向上
- 訓練センターでの製造技術の向上
- AI需要予測型自動発注

また、時間帯別毎に「あるべき売場」をスタンダードレベルとして定め、品切れによってもっと売れたかもしれない「チャンスロス」、販売期限が切れることによる「廃棄ロス」を最小限に抑制し、食品ロスを削減し収益を最大化するために、デイリーマネジメントを強化して取り組んでいます。



お寿司のスタンダードレベル

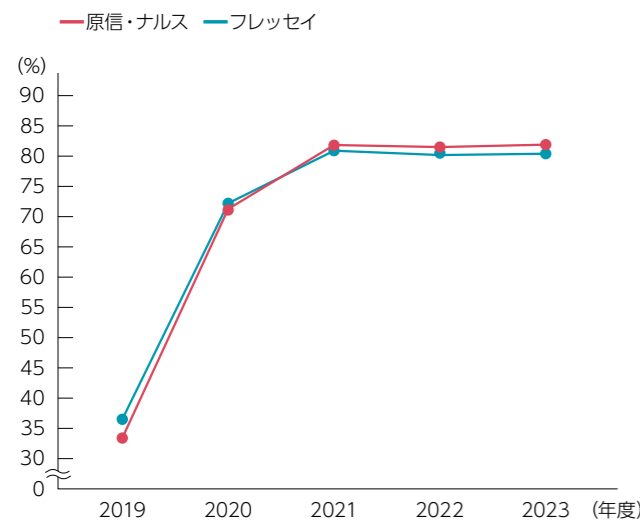


プラスチック使用量の削減

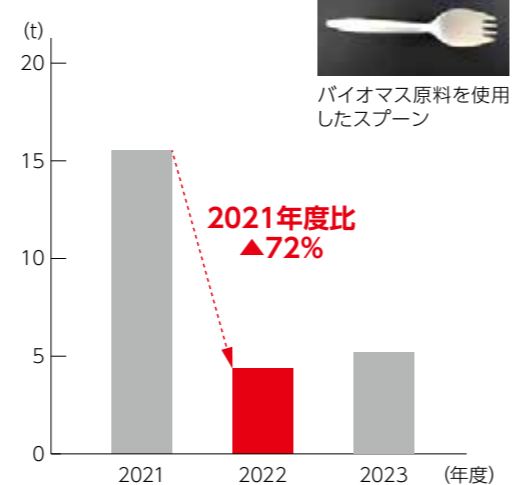
循環型社会の形成に向け、レジ袋の3Rに取り組んでいます。また、プラスチック資源循環促進法の施行に伴い、プラスチック製スプーン等のカトラリー有料化を他社に先駆けて実施しました。同時にバイオマス原料を使用したスプーンに切り替え、CO2排出量削減にも取り組んでいます。

- レジ袋の3R**
- Reduce (減らす)** マイバケットの利用促進、レジ袋有料化
 - Reuse (再利用)** お客様にレジ袋再利用の呼びかけ
 - Recycle (リサイクル)** レジ袋の店頭回収

レジ袋辞退率推移



カトラリー排出量推移



環境に配慮したPB・オリジナル商品

限りある資源を有効に活用するために、さまざまな形で環境に配慮したPB商品・オリジナル商品を展開しています。

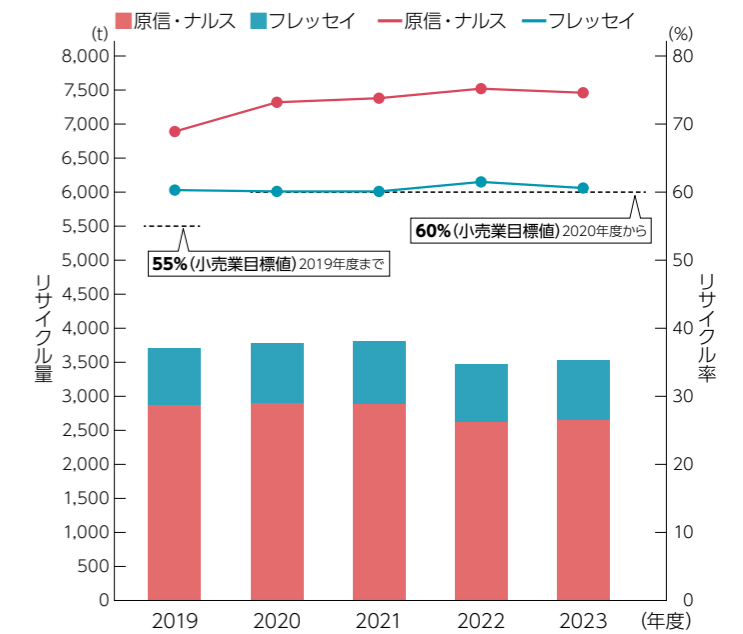


リサイクルの取り組み

食品のリサイクル

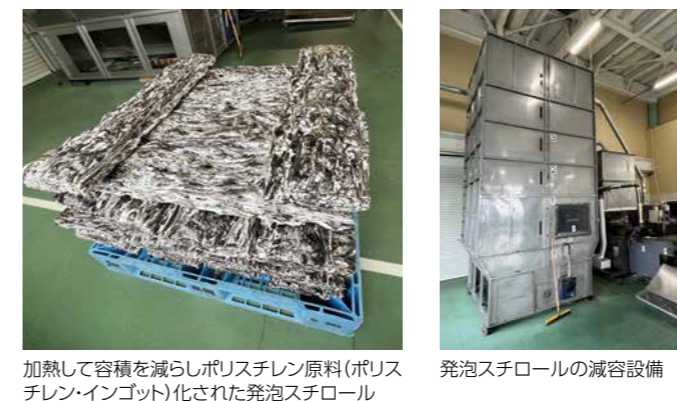
食品廃棄物として発生するものの多くは、野菜の外葉や魚のアラなど、販売することに適さない食材です。それらは、各リサイクル業者様の施設で、たい肥や飼料、燃料などの新たな資源に生まれ変わっています。原信、ナルスでは現在76店舗、フレッシュイでは20店舗でリサイクルを実施しています。

食品廃棄物(廃食用油含む)のリサイクル量および率



発泡スチロールのリサイクル

原信・ナルスへ納品される商品で使用された発泡スチロールは、グループ会社 原興産に集約しポリスチレン原料にリサイクルされ、国内・海外の2つのルートへ出荷しています。



店頭回収品のリサイクル

当社のスーパーマーケット各社は、透明トレー・発泡トレー等を回収しリサイクルしています。

リサイクルの詳細についてはP30をご参照ください。

